

森林 GIS フォーラム 平成 19 年度 東京シンポジウム 報告

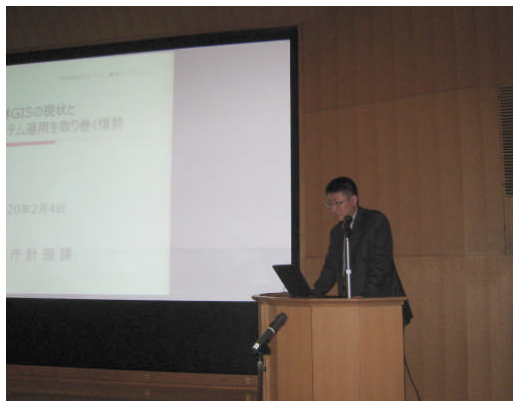
2008 年 2 月 4 日（月）11 時から東京大学農学部弥生講堂において森林 GIS フォーラム 平成 19 年度東京シンポジウムを開催しました。都道府県、企業等約 100 名の参加者がありました。

今年は平成 18 年度から全国 11 箇所で開始された林野庁のモデル事業である新生産システムにおける森林 GIS の役割といった内容で講演を行いました。林野庁森谷課長補佐から森林 GIS に関わる施策等について、日本林業技士会の和田氏から新生産システムの概要と森林 GIS・DB(データベース)整備に関する講演、森林総研九州支所近藤氏からモデル地域の取り組みとして鹿児島圏域における新生産システムにかかる森林・所有者情報のデータベース整備に関して講演がありました。休憩後、本年度から賛助会員に入会された北海道地図株式会社勝部氏から地形データベースに関する話題提供、森林 GIS フォーラム事務局である菅野から森林 GIS に関する研究成果の 1 つとして 2004 年台風 18 号の風倒被害解析に関する話題提供があり、本年のシンポジウムを終了しました。

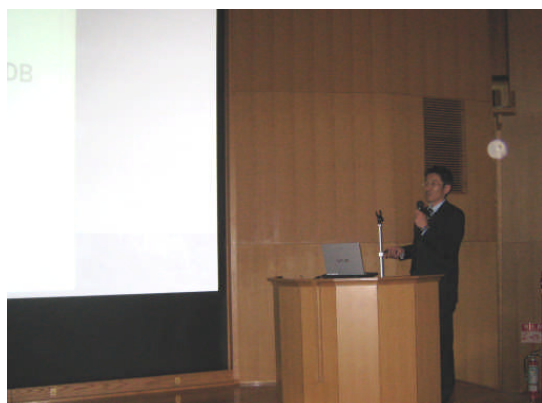
シンポジウムに参加していただいた皆様、および開催にあたり協力していただいた皆様
に感謝致します。



フォーラム参加者の様子



林野庁 森谷克彦課長補佐の講演



日本林業士会 和田幸生氏の講演



森林総合研究所九州支所 近藤洋史氏の講演



文責 森林GISフォーラム事務局 菅野 正人